

ユニバーサルデザイン技術を応用して 特別支援学校の校内表示改善を支援

OKIグループは、東京都立八王子東特別支援学校の校内案内に使用される表示パネルの刷新を支援しました。同校は障がいのある児童・生徒の視機能を支援する学習環境の整備に取り組んでおり、2010年度よりプロジェクトチームを立ち上げて、校内表示の改善に着手しています。これを受けて、OKIのユニバーサルデザイン担当部門とOKIグループの特例子会社OKIワークウェル(p24参照)が同校と協力し、学校の現場調査を行って来校者の動線や視線移動などの解析を実施し、ピクトグラムを用いた表示をデザインしました。表示の設置にあたっては、車いす利用者・歩行者の双方が見やすい位置・高さのアドバイスを発行しており、引き続き同校の視機能支援の取り組みを支援していきます。



校内表示の例

2010年度の状況

OKI GROUP

株主・投資家への情報発信

OKIグループは、株主・投資家の皆様に、企業概要、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示するよう努めています。経営の透明性を高め、信頼関係の構築や企業価値の向上を果たせるよう、専任部署であるIR室を中心に、情報開示やIR活動を積極的に推進するとともに、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、インサイダー取引の防止に努めています。

中期経営計画に関する説明会を実施

OKIは、市場の声を適切に経営や事業活動に活かすことが経営の効率化と企業価値の向上につながるという認識のもと、社長をはじめ



経営説明会の様子(2010年10月)

め経営陣自らが、投資家説明会やIRミーティングなど各種のコミュニケーション活動を実施しています。2010年10月8日には、2013年度を最終年度とする中期経営計画に関する経営説明会を開催しました。同年2月に発表した中期経営計画のブラッシュ・アップという位置づけにたち、社長の川崎が経営方針や中期経営目標、経営基盤強化プログラム、成長プログラムなどに関する説明を行いました。

IRサイトやニュースメールで情報を発信

OKIは、情報開示の公平性を保つため、決算情報をはじめとするさまざまなIR情報を、自社のウェブサイト(IRサイト)に日本語・英語で同時掲載しています。また、決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールで配信する「ニュースメール」(日本語・英語)を、機関投資家やサイト上から登録いただいた方など、約800名の方々に随時配信しています。

ウェブサイト「投資家の皆様へ」 <http://www.oki.com/jp/ir/>

今後も会社法や金融商品取引法、東証適時開示規則などの改正に的確に対応しながら、さらに適切で迅速な情報開示に努めていきます。